

平成24年度

歳入歳出決算補充説明

人 事 委 員 会

人事委員会関係の平成24年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

歳入といたしましては、まず、「平成24年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の129頁の第14款 諸収入、第5項 受託事業収入、第1目 総務関係受託事業収入の公平事務受託事業収入であります。予算額・収入済額とも3万3千円あります。次に、134頁の第8項 雑入、第2目 雑入であります。人事委員会関係分は、予算額9万2千円に対し、収入済額が9万2,723円あります。

以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算額12万5千円に対し、収入済額が12万5,723円となります。

なお、収入未済はございません。

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

230頁の第2款総務費、第9項人事委員会費、第1目人事委員会費であります。予算額1億2,447万円に対して、支出済額は1億2,285万1,660円、不用額は161万8,340円あります。支出済額のうち、人件費は1億935万1,233円、その他の事務費は1,350万427円となっております。

支出済額の内訳といたしましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費1億1,300万3,042円、給与関係調査に要した経費98万8,684円、各種競争試験及び選考試験等の実施に要した経費864万8,699円、公平審査関係及び労働基準監督業務に要した経費21万1,235円あります。不用額161万8,340円は、人件費及び事務費の執行残であります。

なお、監査委員意見は特にごございません。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の平成24年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

平成24年度

歳入歳出決算補充説明

監査委員事務局

平成24年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係の歳出決算につきまして、その概要を説明申し上げます。

「平成24年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の232頁から235頁を参照願います。

歳出決算額は、第2款 総務費、第10項 監査委員費、第1目 監査委員費のうち、2億3,635万1,176円で、その内訳は、監査委員、事務局職員の人件費、監査業務に要した旅費等の事務費です。

主な事業内容としては、定期監査223箇所、財政的援助団体等監査33団体、及び行政監査を行いました。

また、一般会計・特別会計、企業会計の決算審査、健全化判断比率及び資金不足比率等について審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の平成24年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A-B)
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	237,981,000	236,351,176	1,629,824
合 計	237,981,000	236,351,176	1,629,824

(「平成24年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」232頁から235頁までを抜粋)

平成25年定例会 予算決算常任委員会
戦略企画雇用経済分科会
提出資料

◎ 所管事項

「平成25年度債権処理計画（目標）について」……………資料1

◎ 議案説明事項

「平成24年度歳入歳出決算補充説明」……………資料2

平成25年10月31日

出 納 局

資料 1

平成 25 年度 債権処理計画（目標）について

平成 25 年 10 月 31 日

出 納 局

様式(目標2)
平成25年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	出納局長
2 取りまとめ担当課名	出納総務課

滞納債権の現状
3 平成25年度目標

債権の性格	種別	A 平成24年度末		B 平成25年度目標 (25年度発生分を除く。)			C 平成24年度実績 (24年度発生分を除く。)		主な債権	
		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数		前年比 B/C(%)		処理件数		
3-1 強制徴収 公債権	回収			円	回収率			円		
				件	回収率			件		
	整理			円	整理率			円		
			件	整理率			件			
計		円	0 円	処理率			0 円			
		件	0 件	処理率			0 件			
3-2 非強制徴収 公債権	回収			円	回収率			円		
				件	回収率			件		
	整理			円	整理率			円		
			件	整理率			件			
計		円	0 円	処理率			0 円			
		件	0 件	処理率			0 件			
3-3 私債権	回収			1,200,000 円	回収率	333.3	360,000 円	損害賠償金弁償金		
				0 件	回収率		0 件			
	整理			0 円	整理率				0 円	
			0 件	整理率			0 件			
計		6,520,000 円	1,200,000 円	処理率	333.3	360,000 円				
		1 件	0 件	処理率		0 件				
合計	回収			1,200,000 円	回収率	333.3	360,000 円			
				0 件	回収率		0 件			
	整理			0 円	整理率			0 円		
			0 件	整理率			0 件			
計		6,520,000 円	1,200,000 円	処理率	333.3	360,000 円				
		1 件	0 件	処理率		0 件				

様式(目標1)

平成25年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	トナー納入業者が模造品を納入したことによる損害賠償請求訴訟における和解金
4 滞納となった要因等	和解金については、和解条項により複数年度にわたり分割された金額を毎月納付してもらうが、和解金全額を一括調定していることから、「分割納付の期限が未到来の金額」が未収金として計上されていることによる。
5 部局長等名	出納局長
6 所管課等名	会計支援課

7 取組方針	和解条項に基づく毎月の納付が、確実に履行されるよう、債権の管理を行う。
--------	-------------------------------------

滞納債権の現状

8 平成25年度目標

債権の性格	種別	A 平成24年度末		B 平成25年度目標 (25年度発生分を除く。)			C 平成24年度実績 (24年度発生分を除く。)		備考
		未済額		処理額		処理額			
		未済件数		処理件数		回収率・整理率	処理件数		
8-1 強制徴収 公債権	回収			円	回収率		円		
				件	回収率		件		
	整理			円	整理率		円		
				件	整理率		件		
	計	円	0	円	処理率		0	円	
		件	0	件	処理率		0	件	
8-2 非強制徴収 公債権	回収			円	回収率		円		
				件	回収率		件		
	整理			円	整理率		円		
				件	整理率		件		
	計	円	0	円	処理率		0	円	
		件	0	件	処理率		0	件	
8-3 私債権	回収			1,200,000	円	回収率	333.3	360,000	円
				0	件	回収率		0	件
	整理			0	円	整理率		0	円
				0	件	整理率		0	件
	計	6,520,000	円	1,200,000	円	処理率	333.3	360,000	円
		1	件	0	件	処理率		0	件
合計	回収			1,200,000	円	回収率	333.3	360,000	円
				0	件	回収率		0	件
	整理			0	円	整理率		0	円
				0	件	整理率		0	件
	計	6,520,000	円	1,200,000	円	処理率	333.3	360,000	円
		1	件	0	件	処理率		0	件

未収金対策（損害賠償金弁償金）の状況について

平成 25 年 10 月 31 日
出 納 局

1. 未収金の概要

三重県が単価契約をしていたトナー・カートリッジ(NEC 製)について、契約の相手方が模造品を本県に納入したことによる損害賠償金弁償金です。

平成 22 年 9 月 13 日に津地方裁判所へ損害賠償請求訴訟を提起し、その後 9 回の口頭弁論を経た後に、平成 23 年 12 月 12 日に相手方との訴訟上の和解が成立しました。

和解条項の概要は次のとおりです。

①相手方は県に対し、700 万円を次のとおり分割して、所定の指定金融機関等に納付する方法により支払う。

- ・平成 23 年 12 月から平成 25 年 3 月まで毎月月末限り 3 万円ずつ
- ・平成 25 年 4 月から平成 30 年 8 月まで毎月月末限り 10 万円ずつ
- ・平成 30 年 9 月末日限り 2 万円

②相手方が前項の分割金の支払を 2 回怠ったときは、当然に期限の利益を失い、総額 1,098 万円及びその残金に対する支払済みまで年 5%の遅延損害金を支払う。

2. 債務者

債務者は本件訴訟の被告となった法人と個人（同法人の代表者）であり、連帯して支払義務があります。

3. 平成 24 年度末（未済額）の状況

和解条項に従い、700 万円について、平成 23 年度分は、平成 23 年 12 月分から平成 24 年 3 月分までの 4 ヶ月分で月額 3 万円として 12 万円の納付がありました。

また、平成 24 年度分は、平成 24 年 4 月分から平成 25 年 3

月分までの 12 か月分で月額 3 万円として 36 万円の納付がありました。

これにより、平成 23 年度及び 24 年度の納付済累計額は 48 万円となり、平成 24 年度末の未済額は、700 万円から 48 万円を差し引いた 652 万円でした。

4. 平成 25 年度（処理額）目標

和解条項により平成 25 年度からの納付額は月額 10 万円となることから、12 か月分として年額 120 万円と設定しています。

5. 現在の状況

平成 25 年 4 月分は 10 万円の納付がありましたが、平成 25 年 5 月 21 日付けで債務者（個人）の代理人弁護士から自己破産の申立てを行う予定である旨の通知があり、平成 25 年 5 月以降納付が滞っています。このため、債務者（法人及び個人）に督促状を送付しています。

和解条項により、納付が 2 回滞った場合に当然に期限の利益を失い、1,098 万円を支払うとされていることから、未済額は納付済累計の 58 万円を差し引いた 1,040 万円及びその遅延損害金となっています。

なお、個人の自己破産及び法人の破産手続きにかかる申立書が裁判所に提出されています。

6. 今後の対応

今後、債務者の代理人弁護士等を通じ状況の把握に努め、法令等に沿った対応を行っていきます。

平成 2 4 年度

歳入歳出決算補充説明

出 納 局

平成 24 年度歳入歳出決算補充説明

平成 24 年度三重県一般会計歳入歳出決算の出納局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【出納局歳入決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
諸収入			
県預金利子			
県預金利子	32,896,000	34,499,392	34,499,392
雑入			
小切手未払資金組入	32,361,000	33,018,633	33,018,633
雑入	951,000	14,528,386	14,528,386
過年度収入	360,000	6,880,000	360,000
出納局関係分 計	66,568,000	88,926,411	82,406,411

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「平成 24 年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の 122 頁をご覧ください。

第 14 款「諸収入」のうち、出納局関係は、まず第 2 項「県預金利子」第 1 目「県預金利子」であります。

 予算現額 3,289 万 6,000 円

 調定額、収入済額 3,449 万 9,392 円

となっております。これは、歳計現金の運用益のうち、出納局の事務費に充当したものであります。

また、134 頁の第 8 項「雑入」第 1 目「小切手未払資金組入」であります。

 予算現額 3,236 万 1,000 円

 調定額、収入済額 3,301 万 8,633 円

となっております。これは、自動車税の還付金等で小切手等を振出して一年を経過したものを歳入として組入れしたものであります。

また、同じく 134 頁の第 2 目「雑入」のうち、出納局関係は、

 予算現額 95 万 1,000 円

 調定額、収入済額 1,452 万 8,386 円

となっております。これは、主に三重県収入証紙の一般証紙売払代金であります。一般証紙売払代金は、販売した証紙代金を各種手数料等の証紙消印実績に応じて振替えた残額であり、収入済額が予算現額を上回りました。

また、136 頁の第 3 目「過年度収入」のうち、出納局関係は、

予算現額	36 万円
調定額	688 万円
収入済額	36 万円

となっており、652 万円が収入未済額となっております。これは、模造品トナ一納品にかかる弁償金であります。

なお、不納欠損額については、ございませんでした。

【出納局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額
総務費		
総務管理費		
一般管理費	375,891,000	373,640,751
会計管理費	272,251,000	234,160,422
出納局関係分 計	648,142,000	607,801,173

次に、歳出についてご説明申し上げます。

166 頁の第 2 款「総務費」第 1 項「総務管理費」第 1 目「一般管理費」のうち出納局関係は、

予算現額	3 億 7,589 万 1,000 円
支出済額	3 億 7,364 万 751 円
不用額	225 万 249 円

となっております。これは、出納局職員の人件費であります。

また、176 頁の第 9 目「会計管理費」につきましては、

予算現額	2 億 7,225 万 1,000 円
支出済額	2 億 3,416 万 422 円
不用額	3,809 万 578 円

となっております。

支出済額の主なものは、財務会計システムの運用に要した経費、物件等電子調達システムの運用に要した経費、証紙販売手数料、会計事務の検査に要した経費であり、不用額の主なものは、証紙償還金の執行残であります。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の4種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

592頁の次から掲げております「財産に関する調書」のうち、13頁から26頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【4-1 基金の状況 総括表】

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土 地	174,169 m ²	△174,169 m ²	— m ²
	建 物	— m ²	— m ²	— m ²
	立 木	— m ³	— m ³	— m ³
動 産		9,738 枚	— 枚	9,738 枚
有 価 証 券		1,958,479千円	1,925,340千円	3,883,819千円
債 権		697,196千円	△28,892千円	668,304千円
現 金		71,847,097千円	△9,055,777千円	62,791,320千円
計（金額換算）		76,274,202千円	△8,930,759千円	67,343,442千円

※四捨五入しているため、合計等が合わない場合があります。

平成24年度決算にかかる41基金を合わせた決算年度末現在高は、673億4,344万2,288円で、前年度末現在高に比べ、89億3,075万9,295円減少しております。

なお、基金については、確実かつ効率的に運用し、1億5,911万6,288円の運用益がございました。

続きまして、平成24年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご指摘をいただきました事項に対する、出納局の取り組みをご説明申し上げます。

財務事務の適正化につきましては、会計事務にかかる検査、各所属からの相談、会計事務職員を対象とした各種研修等を実施して、不適切な会計事務処理の未然防止及び会計事務職員の人材育成に努めています。

次に、金品亡失に関する取組では、各所属への依命通知や各種研修会におい

て注意喚起するとともに、過失による県の損害額が10万円以上の金品の亡失等に対して所属長への文書指導を行うなど現金及び備品等の金品の管理意識の向上に努めています。

また、資金運用につきましては、各部局との連携強化により収支計画の精度向上に努めるなど、より正確に資金の需給を把握し、今後とも安全かつ効率的な資金運用を行ってまいります。

以上をもちまして、平成24年度決算並びに財産についての説明を終わります。なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年度

歳入歳出決算補充説明書

議会事務局

議会関係の平成24年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

まず、歳入決算について申し上げます。

歳入といたしましては、「平成24年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」134頁の第14款「諸収入」、第8項「雑入」、第2目「雑入」のうち議会関係分は、予算現額1,533万8千円に対し、調定額・収入済額とも1,538万4,664円となっております。

また、136頁の第5目「弁償金」のうち議会関係分は、予算現額35万1千円に対し、調定額・収入済額とも35万1,120円となっており、いずれも収入未済はございません。

次に、歳出決算について申し上げます。

歳出といたしましては、162頁の第1款「議会費」、第1項「議会費」、第1目「議会費」で、予算現額15億3,424万8千円に対し、支出済額は15億333万2,499円となっております。

支出済額の内訳としましては、議員報酬及び議員の期末手当等7億8,720万552円のほか、議会運営に要した経費3億8,184万6,531円、及び事務局職員の人件費3億3,097万5,249円、事務局運営に要した経費331万167円となっております。

ます。

以上、簡単でございますが、議会関係の平成24年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。